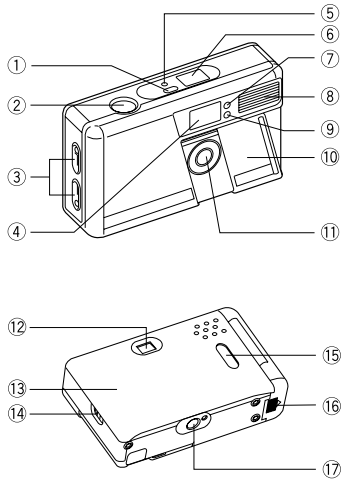
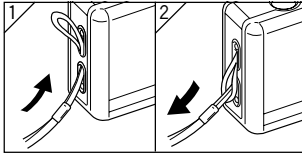
Konica K-mini SUPER

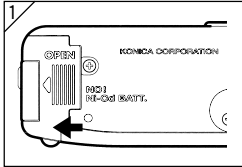
使用説明書

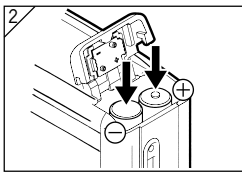
ご使用前に必ずお読みください。使用説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

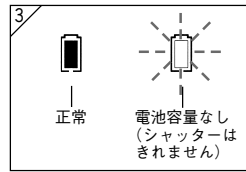
各部の名称

①モードスイッチ
②シャッターボタン
③ストラップ取付け部
④ファインダー窓
⑤途中巻き戻しスイッチ
⑥撮影表示パネル
⑦測光窓
⑧フラッシュ
⑨赤目軽減ランプ／セルフタイマーランプ
⑩レンズカバー（メインスイッチ）
⑪レンズ
⑫ファインダー接眼窓
⑬裏ぶた
⑭裏ぶた開放ノブ
⑮フィルム確認窓
⑯電池室カバー
⑰三脚穴

1．ストラップの取付け方

＊ストラップ取付け部にストラップ先端の細いヒモの部分を通し、通したヒモの輪にもう一方のストラップの端を通して引っ張ってください。

2．電池の入れ方

＊使用する電池は、単４形アルカリ乾電池・２本です。

電池室カバーを矢印方向にスライドさせて、電池室カバーを開けてください。

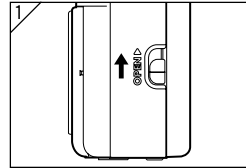
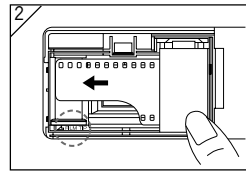
＊電池を入れるときや交換するときは、レンズカバーを閉め、必ず電源をＯＦＦにしてから行ってください。

電池の＋、－を電池室内の表示に合わせて必ず正しい向きで入れ、電池室カバーを閉めてください。

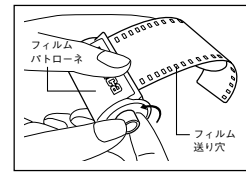
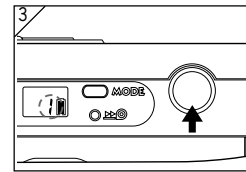
＊電池室カバーを閉めた後レンズカバーをスライドさせて開け、電源をＯＮにして撮影表示パネルを確認してください。電池マークが黒く点灯していれば電池容量はＯＫです。

電池マークが全部白くなったら電池交換してください。

＊電池交換するときは、同一銘柄の新しい電池を２本同時に交換してください。

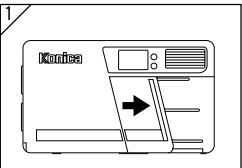
⊘リチウム乾電池、ニッケル水素充電池、ニッカド充電池は使用しないでください。発熱・発火の危険があります。

3．フィルムの入れ方

＊フィルム感度を自動設定します。ＤＸコード付きの３５ｍｍフィルム（ISO100/200/400/800）をご使用ください。

裏ぶた開放ノブを押し上げ、裏ぶたを開けます。

パトローネ（フィルムの容器）をカチッと音がするまで押し入れます。フィルムが平らに出るようにして、フィルムの先端をフィルム先端マーク（▯◿ FILM TIP）に合わせてください。

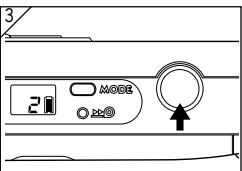
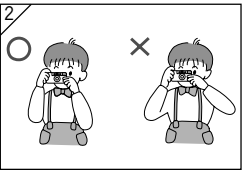
＊フィルムが浮き上がらないようにセットしてください。

＊フィルムを先端マークよりも奥に入れ過ぎないでください。フィルムが送られても撮影途中で巻き戻ることがあります。フィルムの先端が長く出過ぎた場合は、パトローネに少し巻き戻し、先端マークに合うように長さを調節してください。

裏ぶたを閉じた後、レンズカバーを開けて電源をＯＮにし、シャッターボタンを１回押してください。フィルムが自動的に１枚目の撮影位置まで送られます。

＊フィルムが正しく送られていないときはフィルムカウンターに“０”が点滅します。裏ぶたを開けてフィルムを正しく入れ直してください。

4．一般撮影

レンズカバーを矢印方向へカチッと音がして止まるまでスライドさせて開けます。電源がＯＮになり、撮影表示パネルの液晶が点灯します。

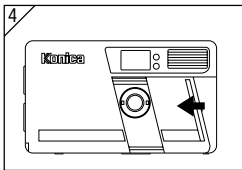
＊レンズやファインダー窓などを指紋などで汚したり、キズをつけたりしないでください。前面のレンズが汚れていたら柔らかい乾いた布で軽く拭き取ってください。

両手でカメラをしっかり持ち、脇を軽く閉めて構え、ファインダー接眼窓をのぞいて構図を決めます。

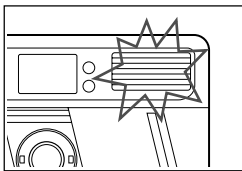
＊指やストラップなどがレンズや測光窓、フラッシュにかからないようご注意ください。また、縦位置の撮影では、フラッシュが上になるように構えてください。

指の腹で静かにシャッターボタンを押して、シャッターをきってください。

＊撮影が終わるとフィルムが１コマ自動的に送られ、フィルムカウンターの数字が１つ進みます。

日中撮影の距離：０．９ｍ～∞

＊０．９ｍ未満の撮影ではピントがぼける可能性があります。

撮影が終わったら、レンズカバーを矢印方向へスライドさせて閉じてください。

＊電源ＯＦＦで撮影表示パネルの液晶は全て消灯します。

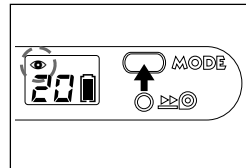
5．自動フラッシュ撮影

暗い所でシャッターをきると、フラッシュが自動的に発光します。

＊撮影表示パネルに ⚡ マークが点滅しているときは充電中ですから、この間、シャッターはきれません。

＊フラッシュ発光時のシャッター速度は、最長約 1/60 秒までとなります。手ぶれにご注意ください。

フラッシュ撮影の距離
（ネガカラーフィルム使用の場合）

フィルム感度	撮影距離
ISO100	０．９ｍ～１．７ｍ
ISO200	０．９ｍ～２．４ｍ
ISO400	０．９ｍ～３．４ｍ
ISO800	０．９ｍ～４．８ｍ

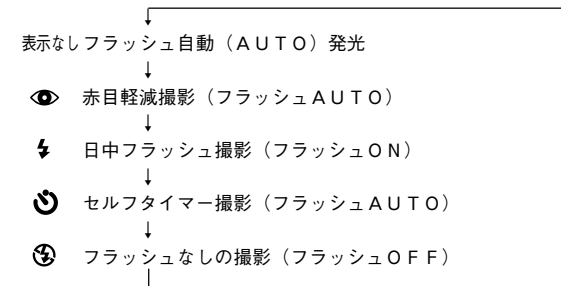
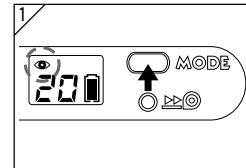
6．撮影モードの切替え

モードボタンを押す毎に、撮影表示パネルに各撮影モードマークが順次表示され循環します。

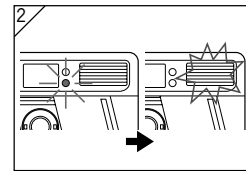
＊一度設定したモード（セルフタイマー以外）は設定を変えるまで固定され、そのまま撮影が続けられます。

＊撮影が終わったら表示なし（通常モード）に戻しておいてください。また、電源をＯＦＦにするとモードは解除され、再度電源ＯＮにすると表示なし（通常モード）に戻ります。

＊セルフタイマー撮影では、撮影毎にモードは解除され、表示なしに戻ります。

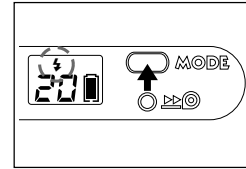
撮影モードの循環

↓
表示なしフラッシュ自動（ＡＵＴＯ）発光
↓
👁 赤目軽減撮影（フラッシュＡＵＴＯ）
↓
⚡ 日中フラッシュ撮影（フラッシュＯＮ）
↓
⏱ セルフタイマー撮影（フラッシュＡＵＴＯ）
↓
⊘ フラッシュなしの撮影（フラッシュＯＦＦ）

7．赤目軽減撮影（フラッシュＡＵＴＯモード）

モードボタンを押して、撮影表示パネルに 👁 マークを表示させます。

＊暗い場所での人物のフラッシュ撮影に効果的なモードです。赤目軽減ランプの点灯により、フラッシュ発光時に起きやすい赤目現象の発生を軽減します。

シャッターボタンを押すと、赤目軽減ランプが点灯した後にフラッシュが発光して撮影が終わります。

＊赤目軽減ランプ点灯からフラッシュ発光までは約0.5秒かかります。この間、撮られる人が動かないようにご注意ください。

＊明るい所ではフラッシュは発光しません。

8．日中フラッシュ撮影（フラッシュＯＮモード）

モードボタンを押して、撮影表示パネルに ⚡ マークを表示させます。

このモードでは、明るい所でも常にフラッシュが発光します。

＊フラッシュ発光時のシャッター速度は、最長約１／６０秒までとなります。手ぶれにご注意ください。

＊逆光や室内の窓際の人物、曇り日や日陰の人物を撮影するときに適したモードです。

９．セルフタイマー撮影（フラッシュＡＵＴＯモード）

モードボタンを押して、撮影表示パネルに 🕓 マークを表示させます。

＊三脚をご使用ください。

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが７秒間点滅後、３秒間点灯してシャッターがきれます。

＊シャッターボタンはカメラの後側に立って押してください。

＊セルフタイマーの作動をキャンセルしたいときは、レンズカバーを閉じて電源をOFFにしてください。

１０．フラッシュなしの撮影（フラッシュＯＦＦモード）

モードボタンを押して、撮影表示パネルに ⚡ マークを表示させます。

このモードでは、最長約１／４秒までのスローシャッターによるフラッシュ発光なしの撮影ができます。

＊フラッシュの使用が禁止されている場所（美術館など）や、都会の夜景などを撮影するときに適したモードです。

＊手ぶれを防ぐため三脚をご使用ください。

１１．フィルムの取り出し方

フィルムを最後まで撮り終えると自動的に巻き戻しが始まります。巻き戻しが終わると、フィルムカウンターに“０”が点滅します。裏ぶたを開けてフィルムを取り出してください。

＊撮影の終わったフィルムは、お早めにＤＰ店にお持ちになり「コニカカラー百年プリント」とご指定ください。

＊フィルムの規定枚数より多く撮影した場合には、最後のコマがプリントされないことがあります。

１２．途中巻き戻しの方法

途中巻き戻しスイッチを、ストラップ調節具の突起部で押すと、撮影途中のフィルムの巻き戻しができます。

液晶について

このカメラは撮影表示パネルに液晶を使用しています。液晶は高温のところでは表示が黒くなり、低温のところでは応答速度が遅くなることがありますが、いずれも常温になれば正常に戻ります。また静電気を帯びているものを近づけると表示が黒くなりますが、しばらく放置しておくと正常に戻ります。

おもな仕様 ＊下記性能については、当社試験条件によります。

項目	仕様
形　式	：固定焦点式 35mm レンズシャッターカメラ
画面サイズ	：24 × 36mm
レンズ	：コニカレンズ 28mm　F8.0（２群２枚）
シャッター	：プランジャーシャッター、シャッター速度；1/4 秒、1/15 秒、1/60 秒、1/125 秒の４段切替え
焦点調節	：固定焦点、撮影範囲；0.9 m 〜 ∞
露出調節	：３点切替え簡易ＡＥ方式、画面平均測光
露出連動範囲	：(ISO100)EV8 〜 EV14
フィルム感度	：自動設定（ISO100/200/400/800）
ファインダー	：逆ガリレオ式ファインダー
フラッシュ	：手ぶれ限界の低輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構、連動範囲（ISO100) 0.9 m 〜 1.7m,（ISO400) 0.9 m 〜 3.4m、発光間隔；約５秒
撮影モード	：赤目軽減撮影、日中フラッシュ撮影、セルフタイマー撮影、フラッシュなしの撮影の各モードを選択可能（撮影表示パネルに表示）
セルフタイマー	：電子式、作動時間・約 10 秒、セルフタイマーランプが約７秒間点滅した後に約３秒間点灯、途中解除可能
フィルム給送	：自動巻き上げ、フィルム終了で自動巻き戻し、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能
フィルムカウンター	：順算式、撮影表示パネルに表示
使用温度範囲	：− 10℃〜＋ 50℃
電　源	：1.5 Ｖ単４形アルカリ乾電池・２本
電池寿命	：50％フラッシュ発光のとき約８本（24 枚撮りフィルム）
大きさ	：100 × 60 × 30 ｍｍ
質量	：110 ｇ（電池別）

＊製品の仕様・外観については予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1）当社サービスステーションでは、コニカカメラの無料診断を行っております。長期間ご使用にならなかった場合や、結婚式、海外旅行など重要な撮影の前に当社サービスステーションに直接ご持参の上ご利用ください。また、２〜３年に一度程度の定期点検およびオーバーホールをおすすめします。（有料）

2）万一、保証期間中に故障した場合は、保証書を添え、当社サービスステーションまたはお買上げ店にお申し出ください。保証書に記載されている保証規定の範囲内で無料修理をいたします。なお、保証期間中でも保証書の添付がない場合、または保証書に販売店名およびお買上げ年月日が記載されていない場合は有料になります。

3）修理のご依頼は、当社サービスステーションにお申しつけください。お買上げ店経由のときは、特に故障の個所や状態を具体的にお申し出ください。故障の状態によってはフィルムを添付いただければ、修理がよりスムーズに行えます。

4）使用上の誤り、当社以外での修理、改造、分解による故障、保管上の不備による故障は、保証の対象になりません。また、砂泥かぶり、浸冠水、衝撃、落下、火災などの事故による故障は、保証の対象にならないだけでなく、著しく損傷したものはほとんど機能の修復は望めません。修理が可能かどうかの判定は当社サービスステーションにご相談ください。

5）本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は生産終了後５年間を目安に保有し、本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後でも修理可能な場合がありますので、当社サービスステーションまたはお買上げ店にご相談ください。

6）保証期間を過ぎた後の修理は有料となります。また、その際の修理品の運賃など諸掛かりは、お客様のご負担とさせていただきます。

日頃ご愛用のカメラに予期しない現象が起きたら、使用説明書をもう一度よく読み直しましょう！電池の消耗や使い方のミスといったことがよくありますので、まず、ご自身でチェックしてください。

安全ガイド

この製品は写真撮影のためのカメラです。撮影以外の目的に使用しないでください。製品の安全性については十分配慮していますが、このページの記載および電池に関する警告・注意をよくお読みになった上で正しくお使いください。

下記のマークは、万一にも傷害や損害を与えることのないように製品を正しく使用していただくための警告表示・注意表示です。

⚠ 警告　このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が死亡または重傷を負う可能性があることを示す警告マークです。

⚠ 注意　このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が軽傷または中程度の傷害を負う可能性がある状況、または物的損害が予想される危険状況を示す注意マークです。

⃠　このマークは、製品を使用する場合の禁止事項を示すマークです。

警告・注意表示の内容が判読できなくなったときは、当社サービスステーションで新しい使用説明書と交換することをおすすめします。（有償）

＊重要な写真（業務用および結婚式や旅行など）の撮影の前には必ず試し撮りや無料診断をして、カメラが正常に機能するか事前に確認してから使用してください。なお、本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得られる利益の喪失など）については補償いたしかねます。

＊地域(特に海外)によっては電池の入手が困難な場合があります。重要な撮影の際には、予備の新しい電池を携行することをおすすめします。

⚠ 警告

電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱、充電をしないでください。爆発して大けがの危険があります。

電池は乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと死亡する危険があります。

カメラのストラップは乳幼児の手の届かない場所に置いてください。誤って首に巻くと窒息の危険があります。

絶対にカメラを分解しないでください。感電の危険があります。

⃠ カメラで直接太陽を見ないでください。目を痛める危険があります。

⃠ 極めて低温または高温の場所にカメラを放置した場合は、素手で直接カメラを触らないでください。やけどの危険があります。

● 次のような場合には直ちに使用を中止し、ヤケドや感電に注意しながら速やかに電池を抜いて販売店または当社サービスステーションにお持ちください。そのまま使用すると火災や感電、やけどの危険があります。

＊変な音、熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたとき

＊水中や雪中に落としたり、内部に水が入ったと思われたとき

＊落下や損傷により内部が露出したとき（この場合、露出した内部に絶対に触らないでください）

⚠ 注意

目に近づけてフラッシュを発光させないでください。目を痛める危険があります。

指定（形式）外の電池を使用しないでください。発熱・発火の危険があります。

＊フィルムは、空港での荷物預け入れや手荷物検査の際のＸ線照射により感光することがあります。フィルムは手荷物とし、検査の際は手荷物から出して、Ｘ線をあてない検査を受けることをおすすめします。

＊フラッシュの表面が汚れていたり、フラッシュを覆ったままフラッシュ撮影すると、フラッシュ発光時の高温によりフラッシュが変質や変色します。また、煙が出ることもあります。撮影の際には、フラッシュ表面の汚れを清掃し、フラッシュを覆わないようにご注意ください。

＊カメラの清掃に、アルコールやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

カメラの取扱いについて

環境保護のため再生紙を使用しています。

Konica
コニカ株式会社

●コニカのホームページ　ｈｔｔｐ://www.ｋｏｎｉｃａ.ｃｏ.ｊｐ

●サービスステーション（本製品についてのお問い合わせ・修理の受付窓口）

東京(新宿)　160-0022 東京都新宿区新宿3-26-11 新宿高野ビル４Ｆ　TEL(03)5269-0691(代)

大阪　541-0059 大阪市中央区博労町4-4-1 コニカ大阪ビル３Ｆ　TEL(06)6253-0251(代)

名古屋　460-0008 名古屋市中区栄2-2-17 名古屋情報センタービル３Ｆ　TEL(052)221-8950(代)

福岡　812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-4 安田生命博多ビル８Ｆ　TEL(092)451-4810(代)

札幌　060-0003 札幌市中央区北三条西1-1-1 ナショナルビル７Ｆ　TEL(011)271-6434(代)

仙台　983-0852 仙台市宮城野区榴岡 5-12-55 NAViSビル４Ｆ　TEL(022)298-9050(代)

広島　730-0037 広島市中区中町8-6 フジタビル１Ｆ　TEL(082)249-4116(代)

●お客様相談室（コニカ製品のお問い合わせ窓口）　TEL(03)3349-5123(代)

●営業時間のご案内

新宿 10：30〜18：30、お客様相談室９：30〜17：00、その他９：00〜17：25

●休業のご案内

土・日曜日、祝日

その他の休業日（年末、年始、夏期休暇、新宿は特別休館日もあります）

※詳しくはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

●海外

KONICA PHOTO IMAGING
KONICA CANADA INC.
KONICA EUROPE G.m.b.H
KONICA UK LTD.
KONICA FRANCE S.A.
KONICA NEDERLAND B.V.
KONICA AUSTRIA G.m.b.H
KONICA HONG KONG LTD.
KONICA AUSTRALIA PTY.LTD.
KONICA SINGAPORE PTE.LTD.
KONICA THAILAND Co.LTD.

PRINTED IN CHINA
5031 95110-00